

まえがき

本書は教職科目「道德教育の理論と方法」を履修する受講学生向けに書かれたものであるが、遠くない将来「道德」が教科として扱われ、「道德教育法」として履修が教職志望者に義務づけられることを懸念する立場からその指導方法を中心にまとめている。

近年の教職志望者向けの道德教育テキストには、道德教育で心の領域を扱うことに批判的な文献も引用されている。国家や教育行政が学校教育の場において心の領域に立ち入ろうとすることに対しては十分な問題意識を持ってよいと筆者は考える。また、日本における道德教育の歴史を戦前からの流れを踏まえて考察した場合、道德教育そのものへの否定的な意見が存在することも自然なことであるとも考える。そして、世の中に道德教育推進側の教育者と道德教育批判側の教育者とが存在するとした場合、教職志望者が教員養成課程で接触するのが道德教育推進側の見解ばかりであるという事態はアンバランスであるといえる。『「心のノート」逆活用法』（伊藤哲司 高文研 2004）のような観点で道德授業をすすめながら一方で道德への問題意識も尊重するような「道德教育法」が構築されてもよいと筆者は判断するものである。

学習指導要領の「道德」では「あるべき姿」や「理想」が様々な観点から説明される。だが、現実のこの社会を生きる人間には理想とされる行動ができていない者も多い。それはなぜなのか。そのことについて他人事ではなく自分自身も深く考えていくような姿勢をこのテキストでは重視した。そのために、姉妹編である『教職概論・生徒指導論』『教職実践演習』とともに本書でも数多くの演習を設けた。

例えば、学習指導要領「道德」小学校〔第1学年及び第2学年〕1、主として自分自身に関すること。の最初の内容は（1）健康や安全に気を付

け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。である。

本書の演習では上記のような「規則正しい生活」がもし実現できていないとするならば、それはどのような原因によるものかを教職志望者に問いかける。また、指導要領の内容を実際に現場で指導する場合に自分ならばどの項目を指導することに困難を感じるかを問いかけ、その結果もまとめている。

類書には、道德教育を戦前の「修身」と対比する観点からその歴史について詳しく説明したり、また倫理学の学問体系のなかで道德を論じるようなものも多い。もちろんそのような見方も重要ではあるが、このテキストでは、実際に教育現場で道德をどのように指導するのか— 道德教育法 — ということに多くのページを割いた。このことは本書の第1の大きな特色である。

第2の特色は、道德教育の手段として用いることが勧められている「読み物」や「視聴覚教材」について多くの具体的教材をもとに論じた点である。本書ほど多くの教材を挙げている類書はあまりない。

第3の特色は、養護教諭を含めて校務分掌との関わりから道德教育と特別活動を論じた点である。生徒指導や保健指導との関連にも留意した。

そして、姉妹編『教職概論・生徒指導論』『教職実践演習』と同じく「演習」や文学作品からの引用を取り込みながら教職志望者に焦点をしぼってまとめた点も特色である。

「道德教育」と同じく教職科目第4欄「実践に必要な理論および方法を修得させるための科目群」におさめられている「特別活動指導法」についても「実践」に留意しながら1章を確保して説明することができた。道德教育と共通する要素も多い「特別活動」の理解にも役立つことを願う。

平成26年3月

梨木昭平

道德教育法・特別活動指導法

目次

まえがき	1
第 1 章 4つの視点	7
第 1 節 第 1 の視点——主として自分自身に関すること——	8
第 2 節 第 2 の視点 ——主として他の人とのかわりに関すること——	13
第 3 節 第 3 の視点 ——主として自然や崇高なものとのかわりに関すること——	17
第 4 節 第 4 の視点 ——主として集団や社会とのかわりに関すること——	21
第 2 章 演習の解説	32
第 3 章 文学教材とモラルジレンマ	46
第 1 節 道徳教育にとっての文学	47
第 2 節 小中学校の文学教材と道徳	50
(1) 小学校 5・6 年の国語教材例 — 宮沢賢治『やまなし』	50
(2) 中学校の国語教材 — 森鷗外『最後の一句』	55
第 3 節 高等学校の文学教材と道徳	60
(1) 夏目漱石『こころ』	60
(2) 森鷗外『舞姫』	64
(3) 芥川龍之介『羅生門』	65
第 4 節 モラルジレンマ	70

第4章 特別活動と道徳	78
第1節 「特別活動」「道徳」の変遷	78
(1) 戦前の修身から「道徳」「特別活動」への流れ	78
(2) 学習指導要領における「特別活動」「道徳」の変遷	82
(3) 学校ドラマに見られる「道徳」の変遷	90
第2節 特別活動の具体的実践	92
(1) 学級活動	93
(2) 児童会・生徒会活動	96
(3) 学校行事	99
第3節 校務分掌と道徳・特別活動	108
補足資料 —— 特別活動の裁判例など ——	115
あとがき	121